

## 光の子

3月後半となり毎日に春めいて参りました。コロナウイルスが世界中に蔓延し、私たちは重苦しく、不安な時を過ごしています。その中であっても3月20日、時間を短縮して第74回子供の家幼稚園卒園式を開催する事が出来ました。当日、式に臨む子どもたちの凛々しい顔、竹馬や側転、鉄棒等に挑戦する子供たちの真剣な姿を見て、改めて子どもたちは大きく、逞しく、優しく成長してくれたのを感じ、感動しました。年長黄組の23人は4月より小学校に進級します。子供の家幼稚園が大切にする「どんな時も諦めない、自分自身を大切にすることのできる、周りの人を自分と同じぐらい大切にすることのできる」小学生になって頂きたいと思います。

3月始めに出したお便りで既に記しましたが3月の聖書の言葉は「光の子として歩みなさい」というキリストの弟子パウロの言葉です。闇は私たちの心を不安にします。恐怖を与えます。それは私たちの目でそこに何があるか、理解する事が出来ないからです。見通す事が出来ないからです。現在、世界中の多くの人々が、コロナウイルスに対して恐怖を抱き、コロナ鬱の患者が増えていると聞きます。それはワクチンや特效薬が未開発という事だけでなく、これからどのぐらいの人が感染し、いつ終息するのか見通しがつかないからです。しかし、ここに一筋の光明を見た時、人間の心は安らぎ、安堵して日々を過ごす事が出来るのです。

パウロはこの言葉の中で、人々の心に安らぎを与える事の出来る存在になりなさいと語っています。また、暗闇の中でへこたれるのではなく、希望を捨てない人々になりなさいと語ります。今後も子供の家幼稚園は、「諦めない、希望を失わない、周りの人々への優しさを忘れない」子どもたちを育てていきたいと思います。

今年度は園の活動にご支援・ご協力頂きありがとうございました。次年度もキリスト教保育に基づいて子供たち、保護者様一人一人を大切にする幼稚園として励んで参ります。次年度もどうぞ宜しくお願い致します。

子供の家幼稚園園長 葛井義頭